キャリア日本語コース　学習目標の目安

レベル	初級		中級			上級		
	初級Ⅰ	初中級	中級Ⅰ	中級Ⅱ	中級Ⅲ	上級Ⅰ	上級Ⅱ	上級Ⅲ
CEFR	A1	A2	B1	B1	B2	B2	C1	C1
JLPT	N5	N4	N4/N3	N2	N2	N2/N1	N1	N1
読解	やさしい語で書かれた、学校生活や日常生活の限られたトピックや日本の文化についての短い文章を読んで理解できる。	やさしい語で書かれた、経験や予定などの身近なトピックや日本の文化についての文章を読んで理解できる。やさしい語で書かれた、行事の説明や指示などを読んで理解できる。	学習している日本語のレベルに応じた語彙で書かれた短い物語や説明文、身近な社会や文化についての文章を読んで理解できる。	学習している日本語のレベルに応じた語彙で書かれたやや長い物語や説明文、具体性のある社会や文化のトピックについての文章を読んで理解できる。	一般向けの、具体性のある社会や文化に関する文章を読んで、文章構成が把握でき、内容が理解できる。身近なことを題材にした短編小説や記事などを読んで、理解できる。	一般向けの、やや抽象度の高い社会や文化に関する文章を読んで、論理構造がわかり、論旨が把握できる。短編小説や興味のある記事、やや専門的な文章を読んで、理解できる。	一般向けの、抽象度の高い文章を読んで、論旨や主張が把握できる。小説や記事、専門性の高い文章を読んで、批判的に解釈できる。	一般向けの、抽象度の高い文章を読んで、相対的な視点から論旨や主張が把握できる。小説や記事、専門性の高い文章を読んで、含意されたメッセージを含め、批判的に解釈できる。
聴解	ゆっくりはっきりと話されれば、時間や曜日、出身や専門などごく身近なトピックに関する短い話が理解できる。ゆっくりはっきりと話されれば、宿題や教室活動に関する簡単な指示や説明が理解できる。	はっきりと話されれば、大学生活や日本の習慣など身近な生活場面に関する話が理解できる。はっきりと話されれば、授業や学校行事など大学生活に関する簡単な指示や説明が理解できる。	日常的な表現を使って話されれば、日本文化の特徴や社会問題など身近な社会・文化的なトピックに関する話が理解できる。日常的な表現を使って話されれば、語の省略が多少あっても、大学生活や社会生活で必要な指示や説明が理解できる。	構成や展開がはっきり示されれば、日本の文化や歴史など社会・文化的なトピックに関する一般教養的な話が理解できる。話が具体的で展開が予測しやすい場面であれば、語の省略や倒置があっても、大学生活や社会生活で必要な指示や説明が理できる。	構成や展開がはっきり示されれば、社会問題や環境問題など時事的なトピックに関する話が理解できる。話が具体的で展開が予測しやすい場面であれば、多少婉曲的な表現であっても、相手の意図が理解できる。	構成や展開が予測しやすい内容であれば、政治・経済や国際関係など時事的、やや専門的なトピックに関する話が理解できる。話が具体的で展開が予測しやすい場面であれば、婉曲的な表現や比喩的な表現であっても、相手の意図が理解できる。	明瞭に話されれば、ニュースや、やや専門的な講義が理解できる。明瞭に話されれば、事柄の関係性や展開がわかりにくい話であっても、相手の主張や意図が理解できる。	多少不明瞭な発音であっても、報道番組や専門的な講義が細部まで理解できる。事柄の関係性や展開がわかりにくい話であっても、相手の主張や意図を微妙な言葉のニュアンスまで汲み取って理解できる。
口頭表現	自分の出身や専門、趣味など、ごく身近なことについて、簡単に話せる。	自分の経験や感想など、身近な事柄について、1 ～ 2 分程度の簡単な発表ができる。基本的な挨拶ができる。やさしい語彙や表現を使って、簡単な質問をしたり、答えたりできる。	身近なことについて、わかりやすい構成で、3 分程度の発表ができる。簡単な依頼や要求をするなど、生活に最低限必要なやりとりができる。日常生活でよく使う語彙や表現を使って、簡単なやりとりができる。	やや社会・文化的なことについて、決められた型に倣って、5 分程度の発表ができる。身近なことについて、簡単な語彙や表現を使って、意見を述べたり、質疑応答したりできる。興味・関心のあるトピックについて、相づちや聞き返しなどを使って、短い会話が続けられる。	社会・文化的なことについて 7 分程度の発表ができる。 やや社会・文化的なことについて、質問内容を事前に準備して、簡単なインタビューやディスカッションができる。日常的な場面で、相手に応じて適切な語や表現を使って、会話が続けられる。	時事的・やや専門的なことについて、論理的にまとめて、発表できる。社会・文化的なことについて質問内容を事前に準備して、インタビューやディスカッションができる。依頼・詫び・約束をするなど、適切な語や表現を使って会話が続けられる。	時事的・専門的なことについて、研究発表や調査発表ができる。聞き手に配慮しながら、説明・論述できる。時事的・やや専門的なことについて、事前に準備して、インタビューやディスカッションができる。相手に応じて、交渉を含めた依頼・詫び・約束をするなど、適切な語や表現を使って、会話が続けられる	時事的・専門的なことについて、研究発表や調査発表ができる。聞き手や場面に応じて、流暢に説明・論述できる。時事的・専門的なことについて、根拠のある意見を述べながら、ディスカッションやディベートができる。どんな場面や相手でも、洗練された表現を使って、流暢に会話が続けられる。
文章表現	日常生活やごく身近なことについて、200 字から400 字程度の短い文章を書くことができる。	身近なことや自国のことについて、構成を考えて400 字から600 字程度の簡単な説明文を書くことができる。自分の経験について、感想・意見を加えて書くことができる。	自分がよく知っている社会・文化的なことについて、わかりやすい文章構成で説明文を書くことができる。賛成か反対か理由を示して、意見文を書くことができる。（漢字400 字～ 800 字程度）	社会・文化的なことについて、決められた型にそってレポートを書くことができる。適切な語彙や文体を選択して、小論文を書くことができる。（漢字600 字～ 800 字程度）	社会的・時事的なことについて、根拠に基づいた小論文またはレポートを書くことができる。（漢字800 字～ 1500 字程度）	時事的、やや専門的なことについて、多様な表現を適切に用い、全体としてバランスのとれた配列で、説得力のあるレポートを書くことができる。	時事的、専門的なことについて、効果的な表現で、多角的な観点からの分析に基づいた考察を含むレポートまたは論文を書くことができる。	時事的、専門的なことについて、独創性のある論文を書くことができる。
ビジネス日本語		日本の会社において必要となる、周りの人とのかかわりの中で必要な一般的な日本語の表現を理解し、使うことができるようになる。	日本の会社において必要となる、周りの人とのかかわりの中で必要な一般的な日本語の表現をより、相手に配慮した形で伝えられるようになる。	対面でのやり取りをする際に必要な、上司・同僚という組織の上下関係における適切なビジネス日本語を習得できる。	対面でのやり取りをする際に必要な、上司・同僚という組織の「タテ・ヨコ」の関係における適切なビジネス日本語を習得できる。	対面のほか、電話・メールにおける定型句や定型文を習得する。顧客や取引先という組織の「ウチ・ソト」の関係における適切なビジネス日本語を習得できる。	日本のビジネスシーンにおける基本的な文書・メール等の定型を理解し書けるようになる。	日本の企業文化における最大の特長の一つである「報連相」の概念を理解し、適切に行う基礎スキルを修得できる。
週当たり授業時数等	20 授業時数 （10 週） 計200 授業時数	20 授業時数 （10 週） 計200 授業時数	20 授業時数 （10 週） 計200 授業時数	20 授業時数 （10 週） 計200 授業時数	20 授業時数 （10 週） 計200 授業時数	20 授業時数 （10 週） 計200 授業時数	20 授業時数 （10 週） 計200 授業時数	20 授業時数 （10 週） 計200 授業時数

※進歩のためには1日1～2時間の自習（宿題・復習・予習）を推奨します。